

Chemical English

2 units (compulsory)

Hideaki Maseda · ASSOCIATE PROFESSOR / BIOLOGICAL FUNCTIONAL ENGINEERING, DEPARTMENT OF BIOLOGICAL SCIENCE AND TECHNOLOGY, Toshifumi Tomoyasu · ASSOCIATE PROFESSOR / BIOLOGICAL FUNCTIONAL ENGINEERING, DEPARTMENT OF BIOLOGICAL SCIENCE AND TECHNOLOGY

Hideyo Ohuchi · ASSOCIATE PROFESSOR / BIOLOGICAL REACTIVE ENGINEERING, DEPARTMENT OF BIOLOGICAL SCIENCE AND TECHNOLOGY

Target) 化学英語の基本的表現(単位, 数式, 器具, 化合物, 化学式, 図表)について理解, 習得する.

Outline) 数式, 化学組成式, 実験器具, 単位の英語表現および科学的データの英語による説明など理科系学生に必要な基礎的英語を, テキストに従って講義する. 実際に CD によるヒアリングを行う.

Keyword) 単位, 数式, *chemical compound*, 図表, *presentation*

Relational Lecture) “**Foreign Language for Engineers**”(0.5)

Requirement) 特になし.

Notice) 毎回宿題を出すので, 復習(ライティング, ヒアリング)を充分に行うこと.

Goal)

1. 化学, 生命科学に関する基本的化学英語を理解できる(授業計画 1~10).
2. 簡単な実験結果, 図表について英語で説明できる(授業計画 11~14).

Schedule)

1. 導入教育, 講演会のリスニング
2. アミノ酸と核酸の発音, 学会発表:はじめの挨拶
3. A を含む単語の発音, 学会発表:イントロダクション, レポート 1 (到達目標 1 の一部評価)
4. E を含む単語の発音, 学会発表:結果の説明
5. G を含む単語の発音, 学会発表:話の展開・転換, レポート 2 (到達目標 1 の一部評価)
6. I を含む単語の発音, 学会発表:強調する
7. U を含む単語の発音, 学会発表:結論, レポート 3 (到達目標 1 の一部評価)
8. Y を含む単語の発音, 学会発表:共同研究者の紹介・謝辞
9. [-some] の発音, 学会発表:おわりの挨拶, レポート 4 (到達目標 2 の一部評価)
10. 発音の混用について, 学会発表:質疑応答
11. 元素記号の発音, 学会:シンポジウムで使われる表現, レポート 5 (到達目標 2 の一部評価)
12. 培養・分子生物学実験に関連する単語の発音, 学会:質疑応答で使われる表現
13. 試薬の発音, 学会:形式的な発表者の紹介例, レポート 6 (到達目標 2 の一部評価)

14. 数字・記号の発音, 学会:正式な発表者の紹介例

15. 期末試験(到達目標 1 と 2 の一部評価)

16. 期末試験の解説と講評

Evaluation Criteria) 出席率 80%以上で, 到達目標 2 項目が各々 60%以上達成されている場合をもって合格とする. 達成度はレポート(50%), 期末試験(50%)で評価する(出席点は加えない).

Jabee Criteria) 成績評価と同じ.

Relation to Goal) 本学科教育目標(B), (C)に対応する.

Textbook) 「国際学会のための科学英語絶対リスニング」羊土社

Reference) 特に指定しない.

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=215696>

Student) Able to be taken by only specified class(es)

Contact)

⇒ 生物事務室(M棟703)

Note)

- ◇ 授業を受ける際には, 2時間の授業時間毎に2時間の予習と2時間の復習をしたうえで授業を受けることが, 授業の理解と単位取得のために必要である.
- ◇ 1~14回目の授業は, 到達目標 1 と 2 の内容を含む.